



D-FLAG たより

4-6月号

平成30年7月発行

祝！世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」



大浦天主堂（天気曇り）

福岡スタートアップラウンジ訪問（5月10日）

大名小学校跡地に1年前にオープンした施設で、起業・創業者への支援を行っている。

運営はTSUTAYAスタッフが担当し、コワーキングスペースも備えた施設を10時～22時で営業している。

昨年度の利用者が22,000人で毎月、100件程度の起業相談と活発な利用状況である。

毎週木曜日は士業（行政書士、税理士など）の個別相談会、毎日開催しているセミナーや人材マッチングサービスなど支援内容が充実しており、学生を含む若者が多く、大都会のエネルギーを感じた次第。

（増田 I M）



【相談コーナー】

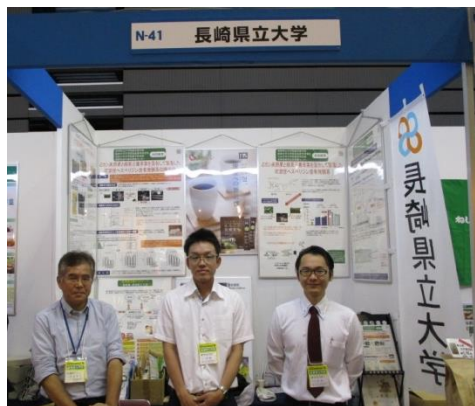


【GOODYが運営している工作室（3Dプリンター、プラズマカッターなど）】

【入口のウェルカムボード】



西日本食品産業創造展（5月24日）



日刊工業新聞社主催、中小機構九州本部後援の展示会（3日間の入場者）は21,400人に参加した。「食の未来を考える」をテーマに今年は、人手不足を反映して食品の自動化・省力化コーナーに製造ラインで、人間とコラボした協働ロボットや作業着のホコリ除去装置など展示されていた。今年の特徴のひとつに、HACCP（ハサップ：食品衛生管理システム）のセミナーも数多く開催されて盛況であった。また、長崎県立大学は「ビワ・椿・ミカンを原料とした各種発酵茶」の製品PRをしており、入居企業の製品チラシも置かせて貰った。今回も長崎県企業の参加が少なかったため、来年以降、増えて欲しいと願うものです。（増田 I M）

ロボット開発技術展示会（6月7日）

インテックス大阪で開催されたロボット展が開催された機会に、技術動向を見学した。

小規模ではあったが、サービス／産業用／協働型ロボットや周辺機器が展示されており、入り口正面では、いきなり「能を舞うロボット」デモが踊り出し、入場者は興味深く見ていた。

日々、用途の広がりを見せているドローンは、機体を安定させるためスポンジ吸着脚を保有した検査用や水中撮影用などの製品があった。災害時運用も期待される分野だが、締結している自治体が京都中心の関西地区のみというチラシを見て早期の広がりが必要だと感じた。

（増田 I M）



「能を舞うロボット」

金融相談会開催（6月21日）



今回地場企業2社が対象でした。

農業法人を立上げ地域資源の有効活用、雇用を主体にした農業経営者、また時代の流れに機微に対応できる柔軟性や豊かな感性を有する女性の起業家の相談でした。

日本政策金融公庫の担当者も変わり、うまく相談者の意向が伝わるか心配でしたが大変気持ちよく真摯に対応頂きました。今後も関係を密にして起業家の応援を行いたいと思いました。（大塚 I S）

シリコンバレー投資家セミナー（6月18日）

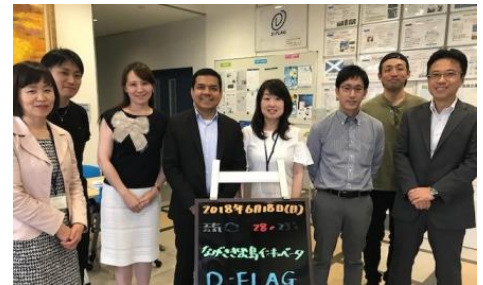
去る6月18日 あのシリコンバレーの著名なベンチャーキャピタリスト アニス・ウツァマンが来崎！講演されました。会場である新県庁は定員オーバーの大入り満員。

講演では具体的投資先紹介や、日本にはスタートアップを育てるインキュベーションやアクセラレーターが不足していること、早い段階でグローバルコネクションをもつVCと連携することでビジネスが加速するなどの話があった。

県の計らいで講演の後D-FLAGを視察いただき、入居企業2社との面談の時間をいただいた。5分間のプレゼンの後、市場が求めているのか、差別化、市場規模等の質問の後、適切なアドバイスを受けた。その後の交流会でもご一緒したが非常に気さくな方でいんなお話いただいた。日本のベンチャーには英語力、プレゼン力とマネジメント力をもっとつけてほしいとのこと。アニス氏は24時間フルに仕事と情報収集に当てており、ジムでランニングしているときも情報を流しているとのこと。成功の影には人一倍の努力があると感じた次第である。

（宮本 C I M）

【セミナーの様子】



第1回出島ビジネススクール「IT大国インドとの連携のススメ」（7月10日）

去る7月10日 ITエンジニアかつスタートアップアクセラレーターとして活躍中のラノジットチャタルジー氏を講師にお招きし、「インドIT最新事情、インドと日本の連携について」をテーマに、長崎大学と共同主催でセミナーを開催した。インド・日本の両文化を知る講師ならではの視点で、国、文化、国民性、AI、連携についての話があった。その中で興味深かったのは、インドは形あるもの・ルールを破りたいという意識がDNAに組み込まれているとのこと、そのエピソードとして、席の不足するバス内で、天井にハンモックを吊り下げ横たわる様子が紹介された（日本ではありえません！）。イノベーション気質が知らず知らずの内に備わっている!?と感じた次第である。さらにインドは多様性国家であることや、精神性を重んじること、精神性と日本のおもてなし文化には繋がるものがあり、そこに連携の糸口があるとのことであった。お話好きとの国民性も紹介されたが、それを体現するセミナーとなり、出席者からも好評内に終了した。（宮本 C I M）



【多くの学生さんが参加してくれました】

★新入居企業紹介★

409号室 株式会社SGSジャパン

長崎とインドネシアの架け橋に！ハラル商品の企画・開発

【会社名】 株式会社SGSジャパン

【代表者名】 古賀 則幸

【本店所在地】 長崎市出島町1-43

【登記日】 平成30年6月

【事業内容】 インドネシア向け商品の企画、インドネシア向け商品の販売支援
インドネシア留学生の交流及び人材確保



～IM室より～

☆アドミンが長崎デジタルコンテストを開催します☆

9月8日（土）にアドミンが長崎デジタルコンテストを開催します！今年で7回目の開催、出島の夏の風物詩？ですね。長崎県内の情報処理・マルチメディア部門の学生を対象にプログラム、Webページ、CG、イラスト、動画、などのデジタルコンテンツを募り、アイデアやクオリティを競い合うコンテストです。エントリーは8月13日まで。興味ある学生さんはぜひ応募してみてください。豪華商品をゲット出来るかも。会場には社会人の方も参加出来ます。詳細は株式会社アドミンのホームページで。



デジタル応募お待ちしております

☆大浦天主堂キリシタン博物館訪問☆

大浦天主堂のキリシタン博物館ミュージアムショップパードレを訪問しました。ここには昨年、出島ビジネススクールに講師で来て頂いた株式会社Paykeの多言語化対応タブレットが導入されています。オリジナル商品の「奇跡のカステラ」を試食。しっとりとして卵の味も濃くて美味しかったです☆パードレでしか買えないので、キリシタン博物館を訪れた際はぜひお試しになってください。私は天主堂が描かれたノートも買いました・・・博物館もみどころがたくさんあり、キリスト教の歴史は教科書で学習したことだけでしかないことばかり。長崎に住んでいながら反省しました。大浦天主堂は世界遺産に登録されました！！皆様もぜひ一度訪れてみてください。

【Paykeの多言語化対応タブレット】



☆PIEMが新事業展開☆

PIEMが新連携事業に認定。宮崎市のウェブサイト制作会社「TNAソリューションデザイン」と提携し、挙式後の結婚生活をサポートするAIアプリを開発・事業化を目指しています。

編集後記

こんなに暑かったっけと思うほど暑い日が続きますね。ということでビールの季節です。表紙の大浦天主堂の隣のグラバー園では週末限定でビアガーデンをやっています。長崎の路面電車では納涼ビール電車も夏の期間走っています。発売と同時にチケット完売になることが多く、まだ乗車したことがありません。電車通勤の私は、楽しみにビール電車で酔っ払っている人たちを横目に帰っております。冬はおでん電車もあります。普段より酔うのか気になります。

独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部
ながさき出島インキュベータ D-FLAG IM室
執筆協力: 杉本課長代理、宮本CIM、増田IM、大塚IS
写真: 増田IM、長AIS
編集: 長AIS
〒850-0862 長崎市出島町1-43
電話: 095-811-6800
FAX: 095-811-6801 E-mail: d-flag-info@smrj.go.jp